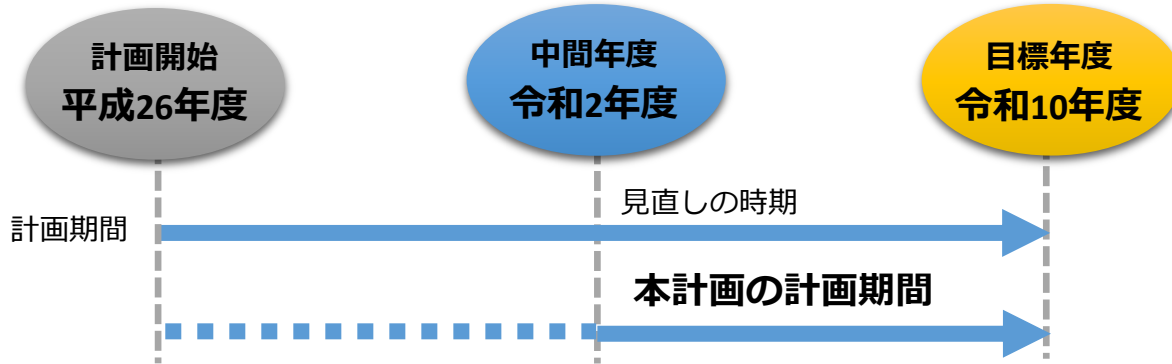


音更町ごみ処理基本計画（中間見直し）・概要版

計画見直しの目的

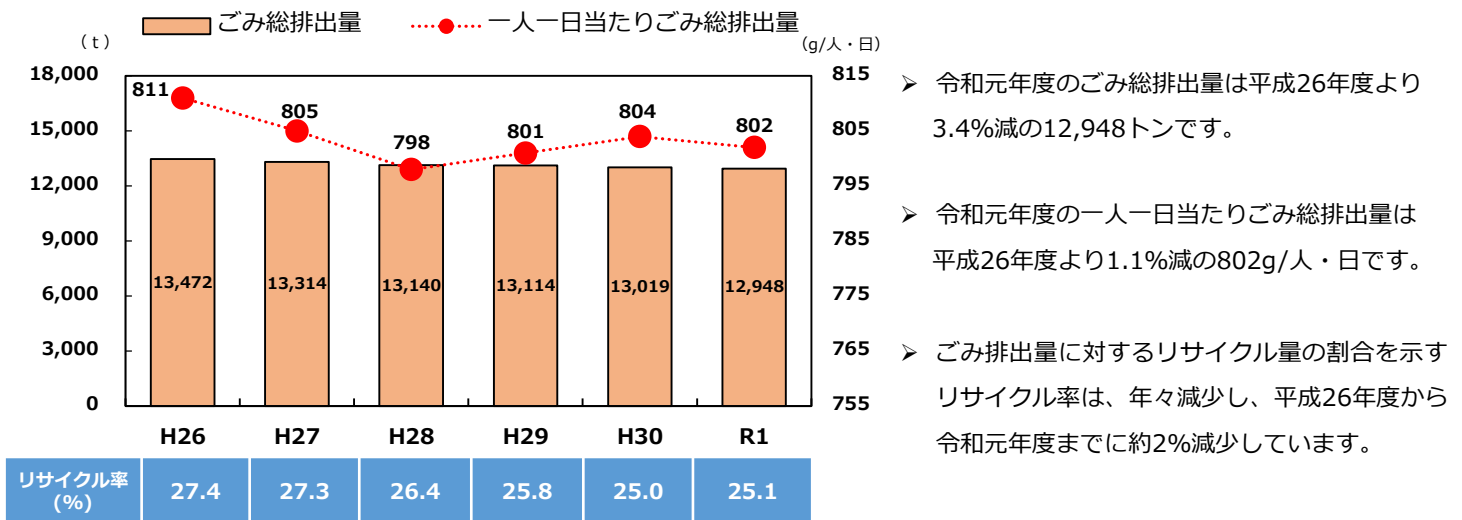
- ▶ 本町では、平成26年から令和10年度までの15年間を計画期間とする「音更町ごみ処理基本計画」を策定しましたが、計画から7年が経過したことから廃棄物に係る社会情勢の変化を考慮し、中間見直しを行います。
- ▶ 本計画は、本町のごみ処理システムの評価と課題を把握し、「循環型社会」の構築に向けた今後のごみ処理の方針を明らかにするためのものです。



ごみ処理の現状と目標達成状況

■ごみ処理の現状

- ▶ 平成26年度から令和元年度までのごみ総排出量と、一人一日当たりごみ総排出量を示します。



■目標の達成状況

- ▶ 平成25年度に策定したごみ処理基本計画では、中間年度（R5）及び目標年度（R10）における目標とすべき数値（以下、目標値といいます。）を定めています。以下に目標値と達成状況を示します。

	数値目標		現状	達成状況
	中間年度 (R5)	目標年度 (R10)	R1実績	
一人一日当たりのごみ総排出量	814 g/人・日	809 g/人・日	802 g/人・日	達成
リサイクル率	R10までに28%以上		25.1%	未達成

- ▶ 一人一日当たりのごみ排出量は、令和元年度時点で目標年度の数値目標を達成しています。
- ▶ 一方、リサイクル率は目標の28%以上に対し、令和元年度では25.1%と目標を下回っています。

数値目標

【一人一日あたりごみ排出量】

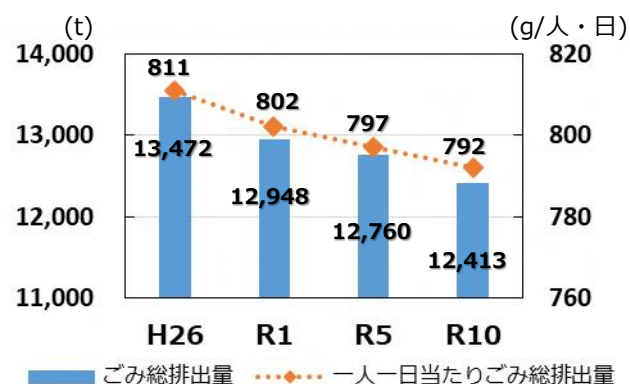
令和10年度までに平成26年度実績から19g減らします。

- 19 gの目安…レジ袋（大）2枚分
マイバッグを利用し、ごみ減量を心がけましょう。



【リサイクル率】

令和10年度までに28%以上にします。



目標達成に向けた取組

□ 基本方針

本町では、天然資源が抑制され、環境への負荷が低減される循環型社会構築を目指し、①リデュース(廃棄物等の発生抑制)・②リユース(再使用)・③マテリアルリサイクル(再生利用)・④サーマルリサイクル(熱回収)・⑤適正処分の優先順位で、ごみの有料化、容器包装廃棄物の分別収集、大型ごみの一部再生利用、リサイクル施設・破碎選別施設での資源化及び有価物回収、焼却施設での熱回収、埋立ごみの減量・減容化等の適正処理・施策を実施してきました。今後も現在の処理システムを継続していきます。

また、ごみの発生抑制やリサイクルの意識啓発を再徹底し、減量目標を定めて排出抑制及び資源化に努めます。併せて、不適正排出や不法投棄などの防止に努め、適正なごみ処理体制を図ります。

□ 基本的な施策

ごみ減量化の推進

- 広報紙・ホームページ等による普及啓発
- 生ごみ減量化の推進
- 食品ロスの推進
- マイバッグ運動の推進
- 過剰包装自粛の啓発活動
- 各種団体・学校への啓発活動
- 清掃活動の推進

資源化の推進

- 町内会等による集団回収
- 学校による牛乳パックの回収
- 布・廃食油のリサイクルの推進
- 小型家電リサイクルの推進
- 資源ごみの分別徹底

適正なごみ処理体制の確保

- 適正処理困難物への対応
- 不法投棄防止の取組み
- 災害廃棄物処理計画の策定
- 3R推進に向けた取組みの拡充
- 海洋プラスチックへの対応